

大跡河原権子話

全





8  
へ13  
3071

特  
へ13  
3071

藏 号 第 藤

讀書心得之記

- 一可成丁寧ニ讀ベキ事
- 一破損及塗黒スベカラズ
- 一又貸ハ一切嚴禁之事
- 一火ノ上ニテ心ズ讀ベカラズ
- 一讀書中中央迄讀候節
- ハ心ズ寐ヲ入置ベシ決シテ
- 本ヲ折ベカラズ

右之條魚ノ相守可申者也

藤井氏藏書

書 卷 井

曲亭馬琴作  
歌川國貞画  
全本六册合卷三册

大師河原撫子話上冊

天保十二年  
辛丑春發行

中橋紅英堂上梓



壹

夫徳徳の耳の鳴が如し。已ひての知て人は是を知りて金に如し。必陽報あり又隱悪ら。軒睡の如し。已見らるる人。知は這をり。必悪報あり。善を作さぬ大なるむとて。已悪を為さぬ。小きなりとも。好ふとあると。古人の金言。善悪の報あり。譬言ハ御貴の物の應ぶるのみと。善君子の人をり。鏡とよ。前車の覆を見て。後車の戒と。後由悪あると。此ら必近患を。あ。善と物。全部六册義太夫列傳の復讐言との揚馬を述因果觀面の道理彼は居氏と説小根さく。命て大師河原撫子話とのあり。

天保十二年辛丑春

曲亭馬琴誌



大徳師  
 尼河原  
 大師の  
 尊像

善助女房於櫛

著作堂

相模國  
 足柄山の  
 麓の  
 村長  
 善助

子に於て先年極根と  
 あり親心物を  
 かひおき雪の  
 色解



初はつのつ天あま狗いぬののああまま

あまのあま

其角

蜂はち谷や甚あま大お夫と之の助すけ

村長善助が後妻  
於

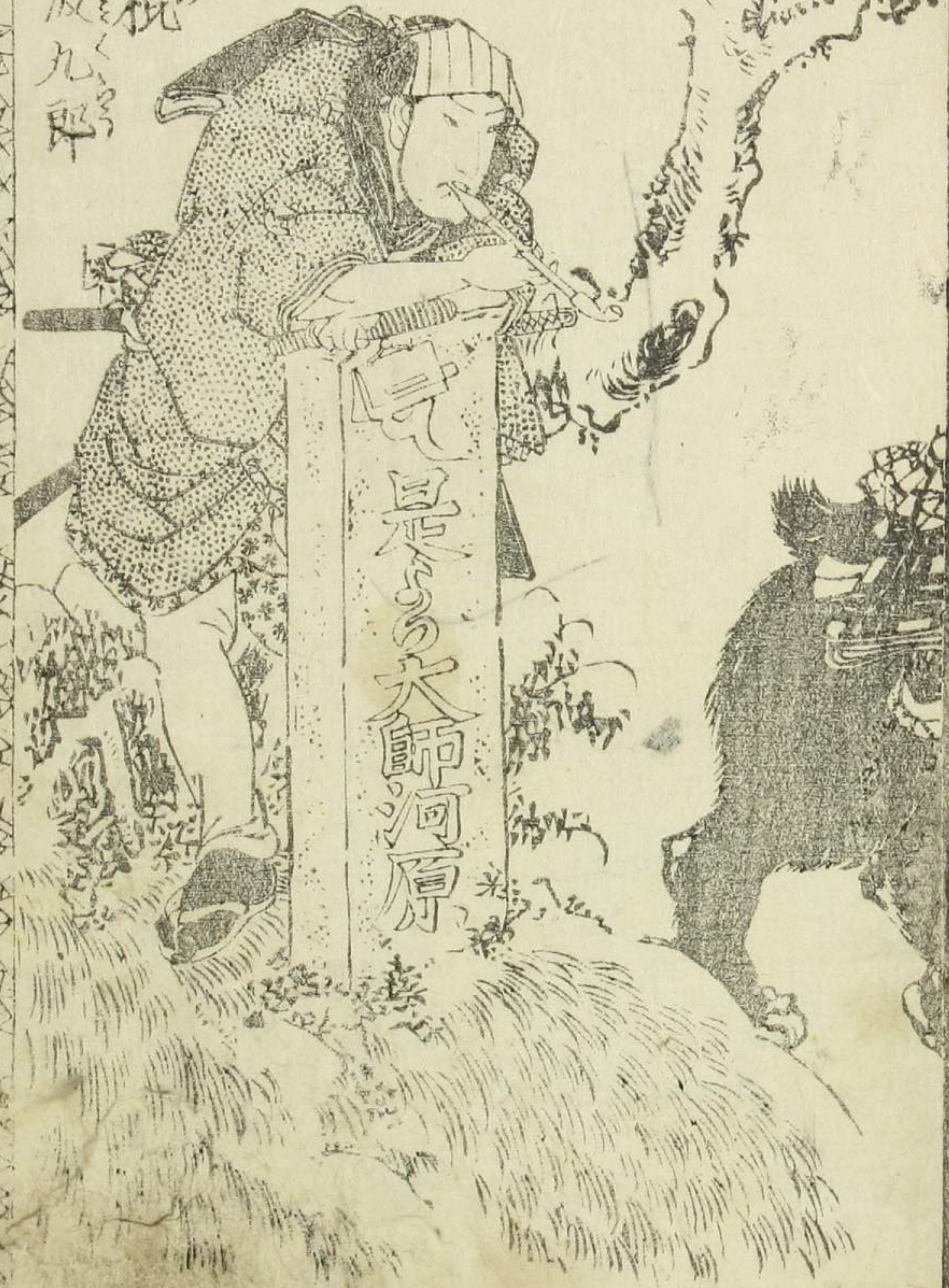


甚あま之の助すけのの僕めかけ

蚤いも八やち

美濃國  
蜂谷村の郷士

悪棍  
波九郎



蜂谷甚之助  
女房於露

甚之助  
捨子  
太郎



















馬琴作

天保十二  
丑ノ年  
新版

中



國貞画馬琴作

大師

大師

江戸京橋

南傳馬町二丁目

葛屋吉藏

壽

櫻

馬琴

河名

櫻

作

梅子

國貞

旦春

畫

新彫

法中





あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて

あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて



あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて

あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて

あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて

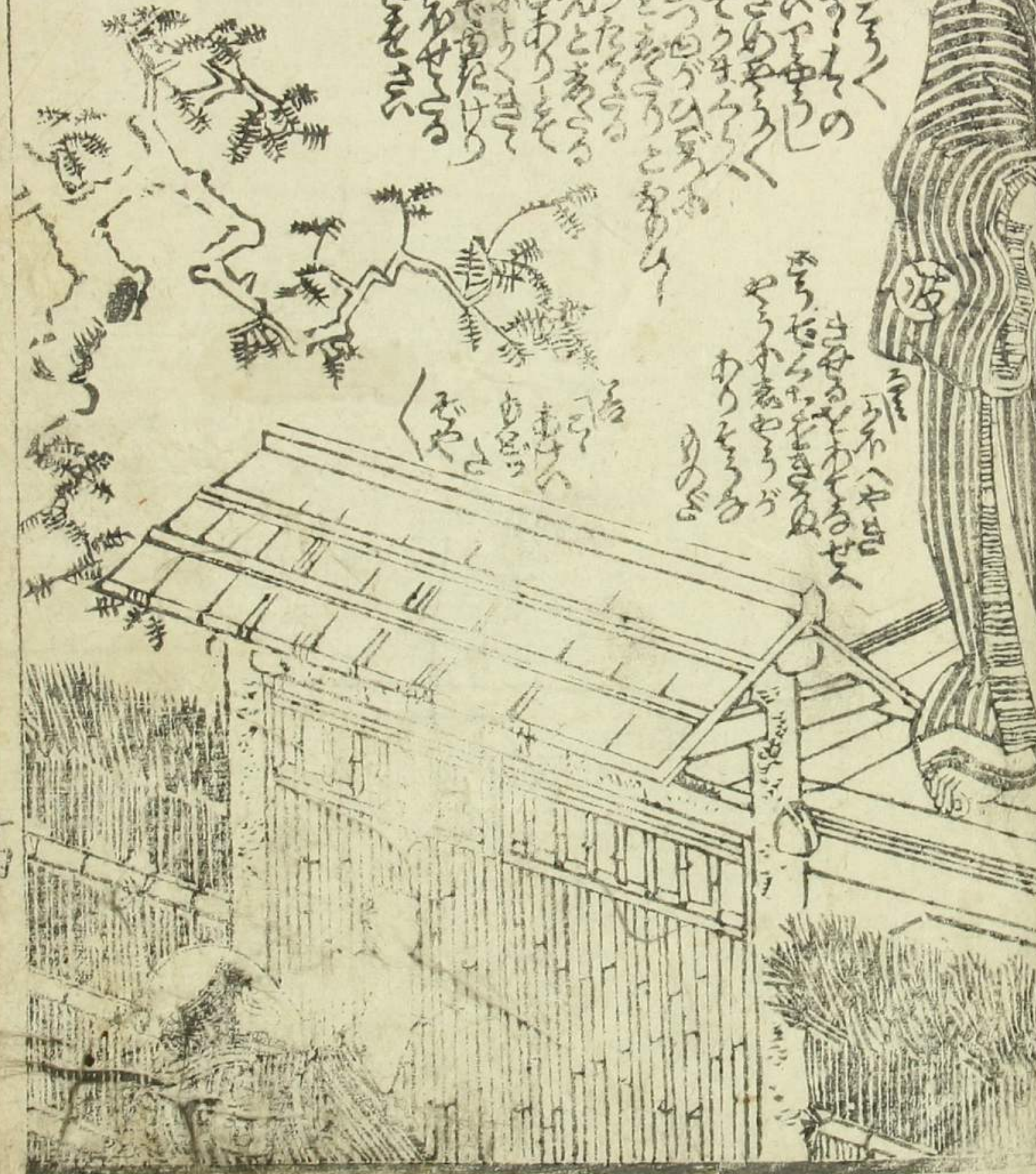
あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて



あはれまぢせんかとかうらうらふて  
よめうてをのあぢらまをうらめて  
せんかをりまぢらうらう  
あはれまぢせんかとかうらうらふて



そのいふこと  
ちつちつとせよ  
又そのいふこと  
ちつちつとせよ  
そのいふこと  
ちつちつとせよ



そのいふこと  
ちつちつとせよ

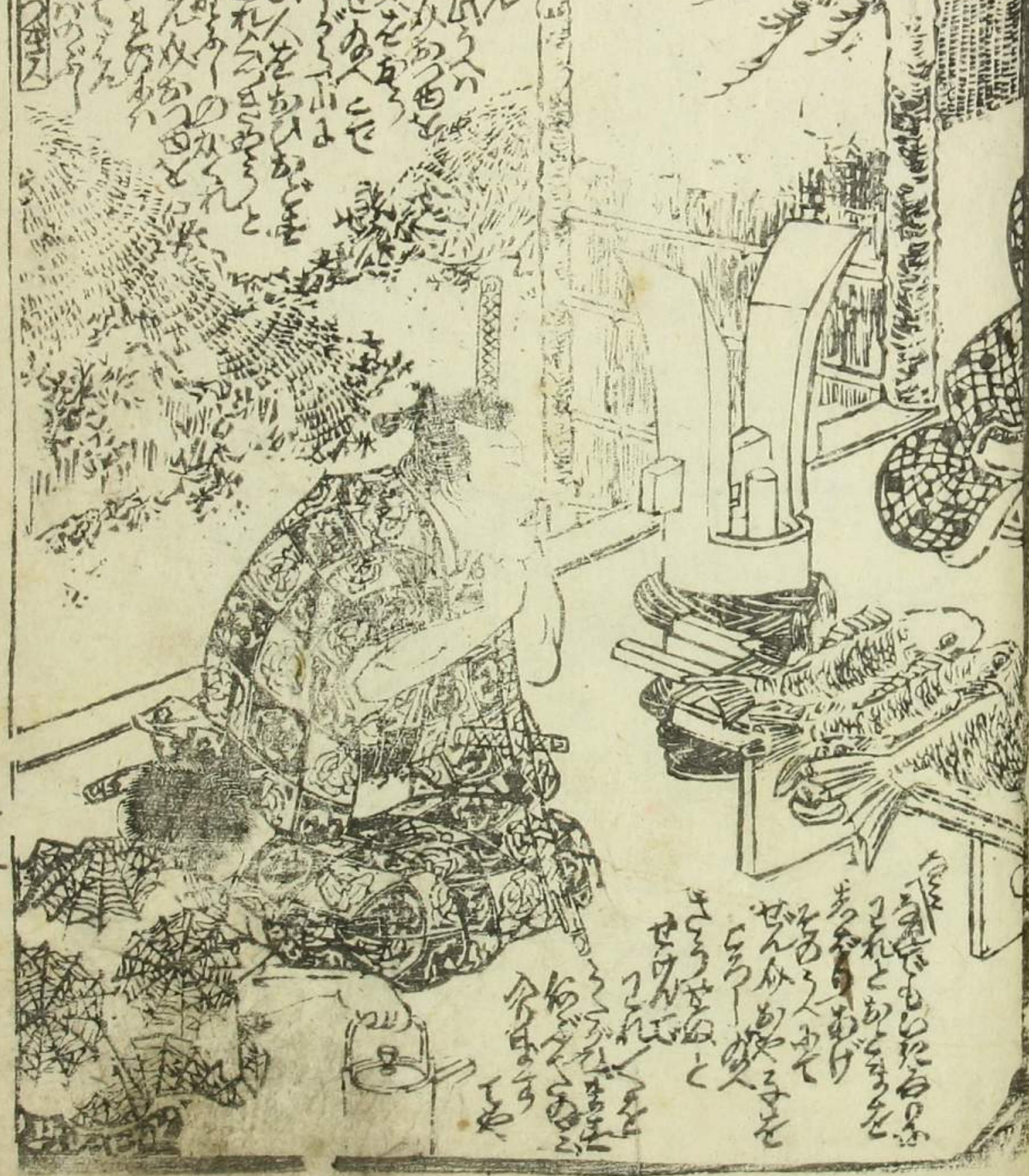
そのいふこと  
ちつちつとせよ



そのいふこと  
ちつちつとせよ

大師

あんなの女が  
久しとれバ  
只らの子を  
いかに  
いささか  
あれもつら  
くやませ  
てこそ  
かたじけな  
い  
あんなの女  
いかに  
いささか  
あれもつら  
くやませ  
てこそ  
かたじけな  
い

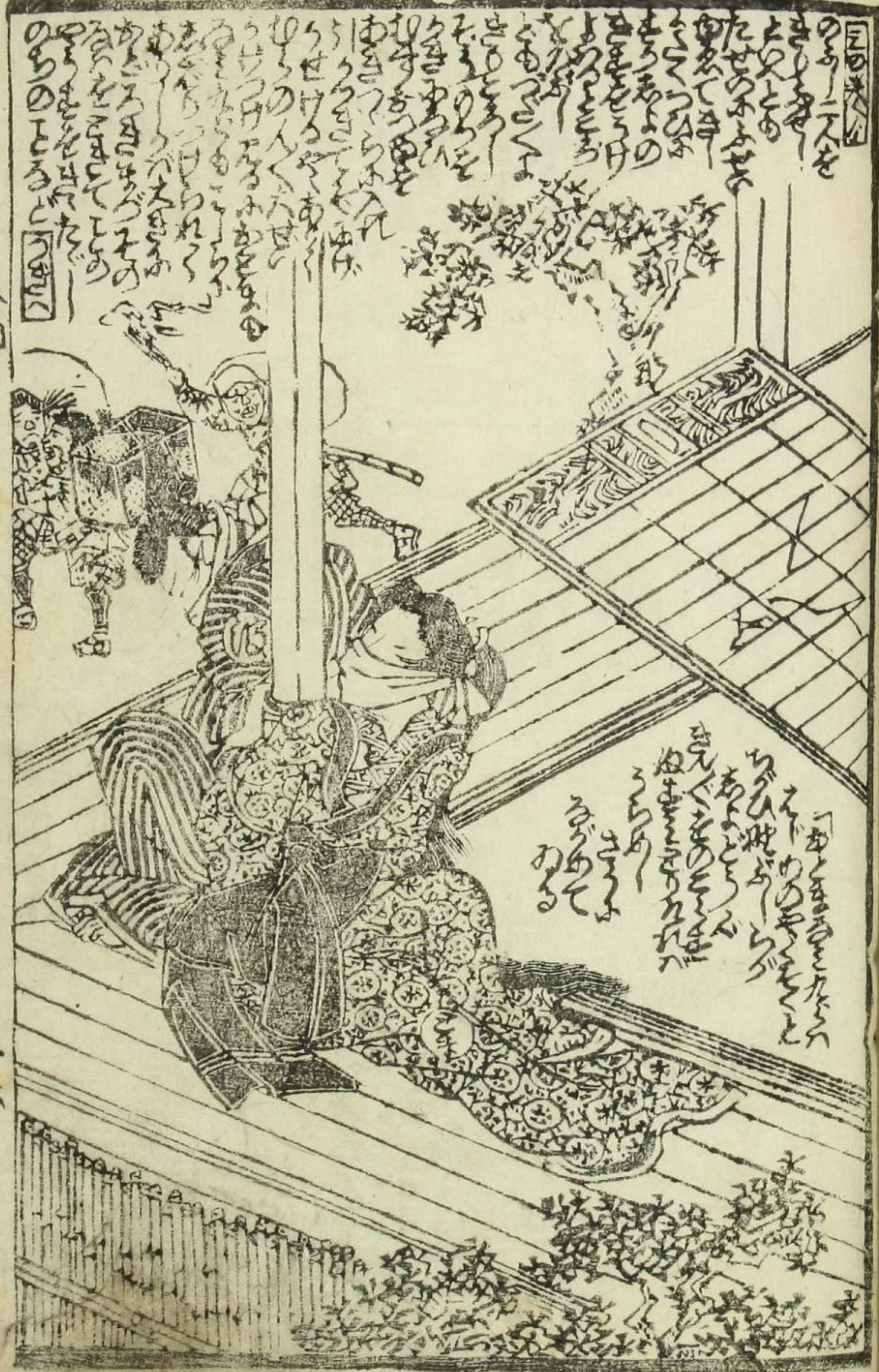


あんなの女が  
久しとれバ  
只らの子を  
いかに  
いささか  
あれもつら  
くやませ  
てこそ  
かたじけな  
い

あんなの女が  
久しとれバ  
只らの子を  
いかに  
いささか  
あれもつら  
くやませ  
てこそ  
かたじけな  
い



あんなの女が  
久しとれバ  
只らの子を  
いかに  
いささか  
あれもつら  
くやませ  
てこそ  
かたじけな  
い



中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ



中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ



中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ

中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ



中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ

中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ

中下  
さきかひさま  
をさきかひさま  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ  
のひのこころの  
あなをさきかひ

さとりつらさ  
あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ  
のそと  
あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ



あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ  
のそと  
あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ

あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ  
のそと  
あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ



あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ  
のそと  
あまももち  
さのこをそと  
あてみわのら  
たどりぬれぬ  
さるのやへま  
さちちまもた  
まらちまもた  
けりたくりひ  
るけまのたの  
そふつまのた  
こひのたのた  
うまの  
のそと  
あり  
とたの  
のそと  
あてみわ

此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ  
 事なり  
 其の事  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ  
 事なり



此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ  
 事なり





大師河原撫子話



國貞画

下



氏琴作國貞画

大師



る 筈 化

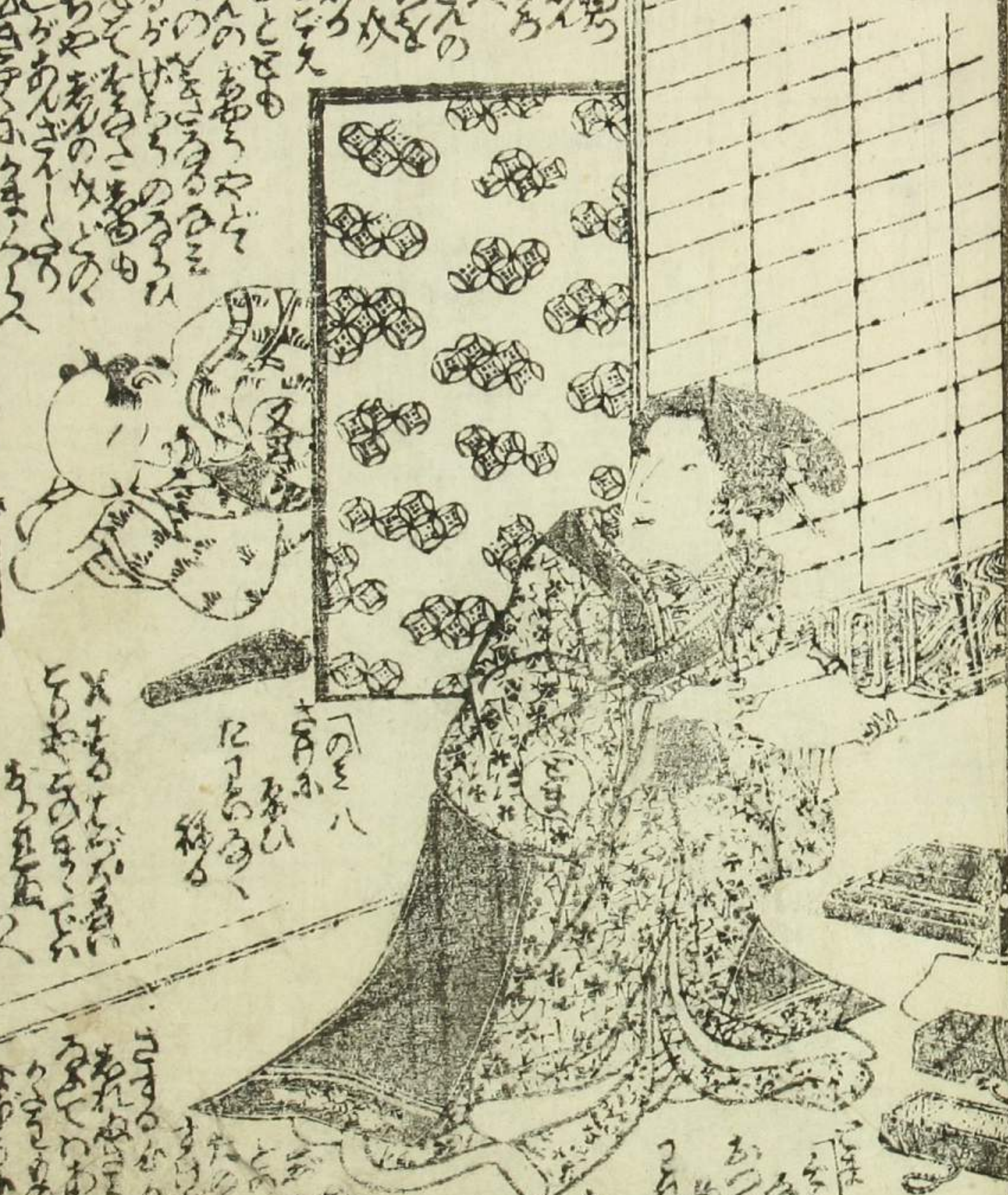
且 子 意 家 罪 市

あはれはあはれ

玉 貞 魚

考 去 和 梓 紙

あはれはあはれ... (Vertical text at the top of the left page, likely a title or introductory text for the illustration.)

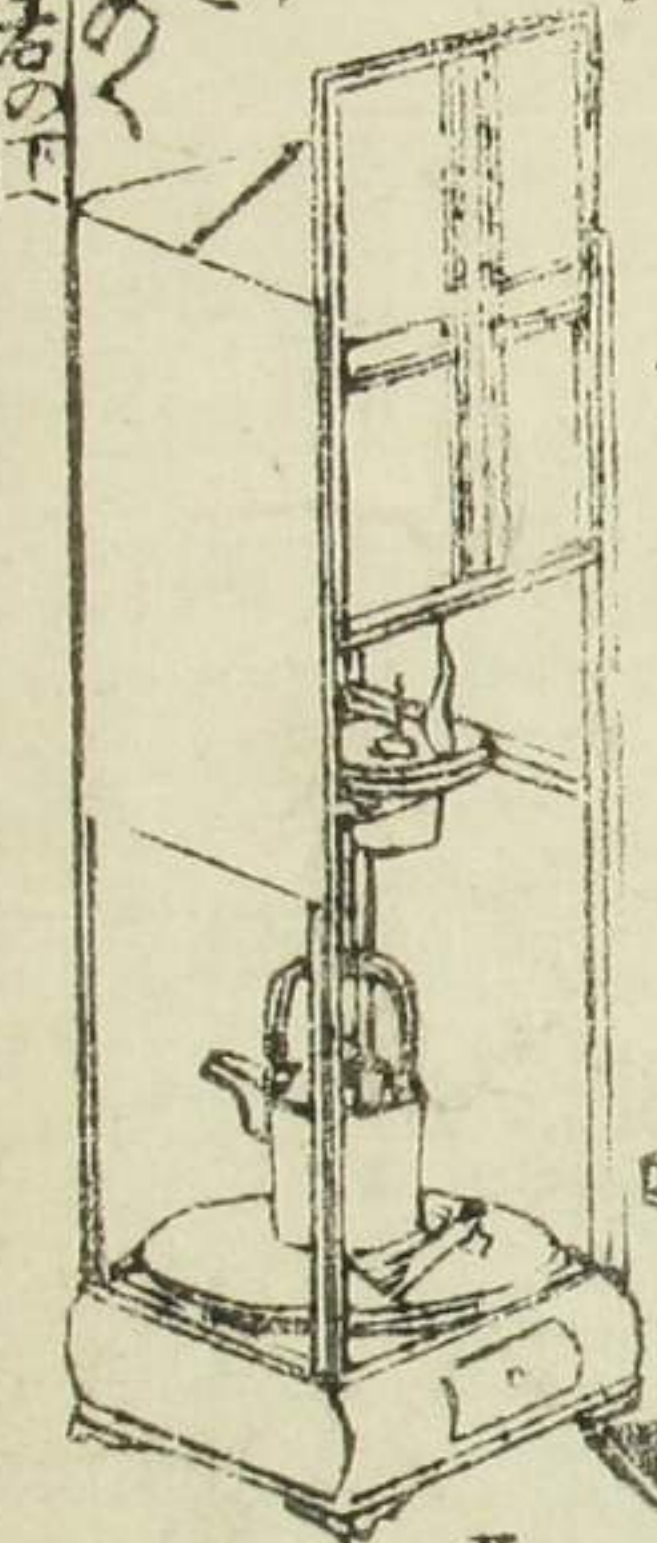


あはれはあはれ... (Vertical text on the left side of the illustration, providing commentary or context.)

あはれはあはれ... (Vertical text at the bottom left of the illustration, continuing the commentary.)



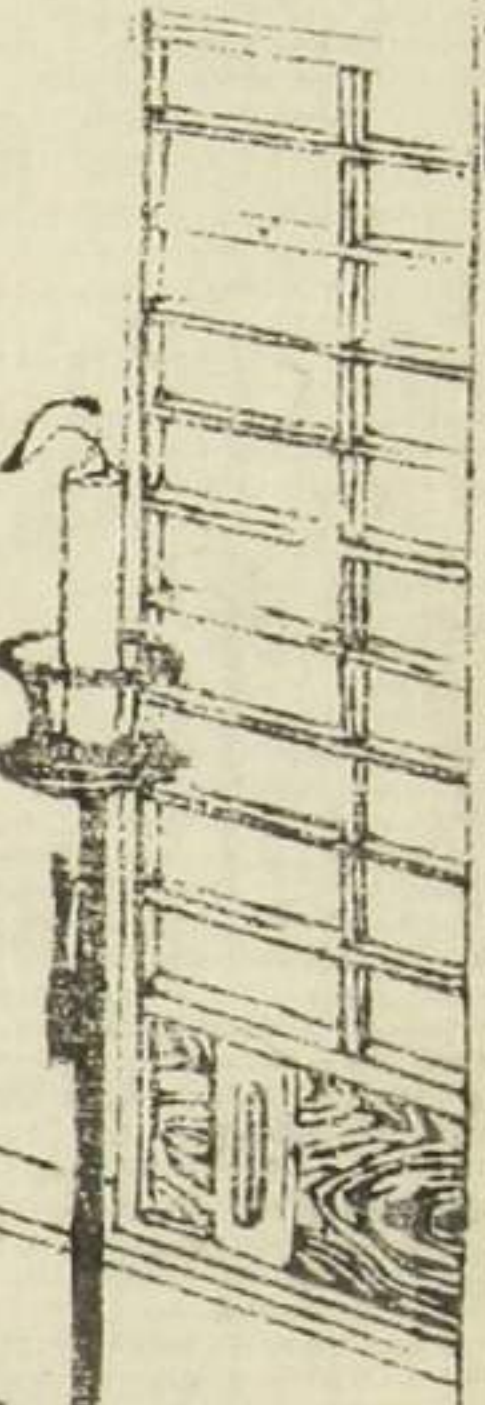
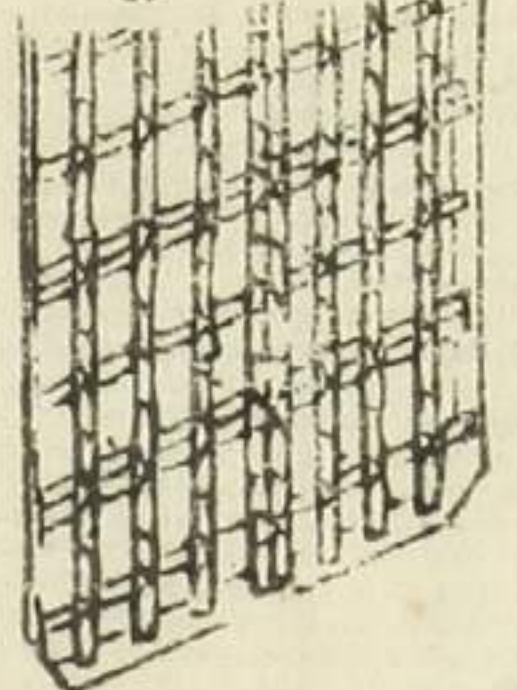
そのまは...  
下は...  
そのまは...  
下は...



そのまは...  
下は...

そのまは...  
下は...

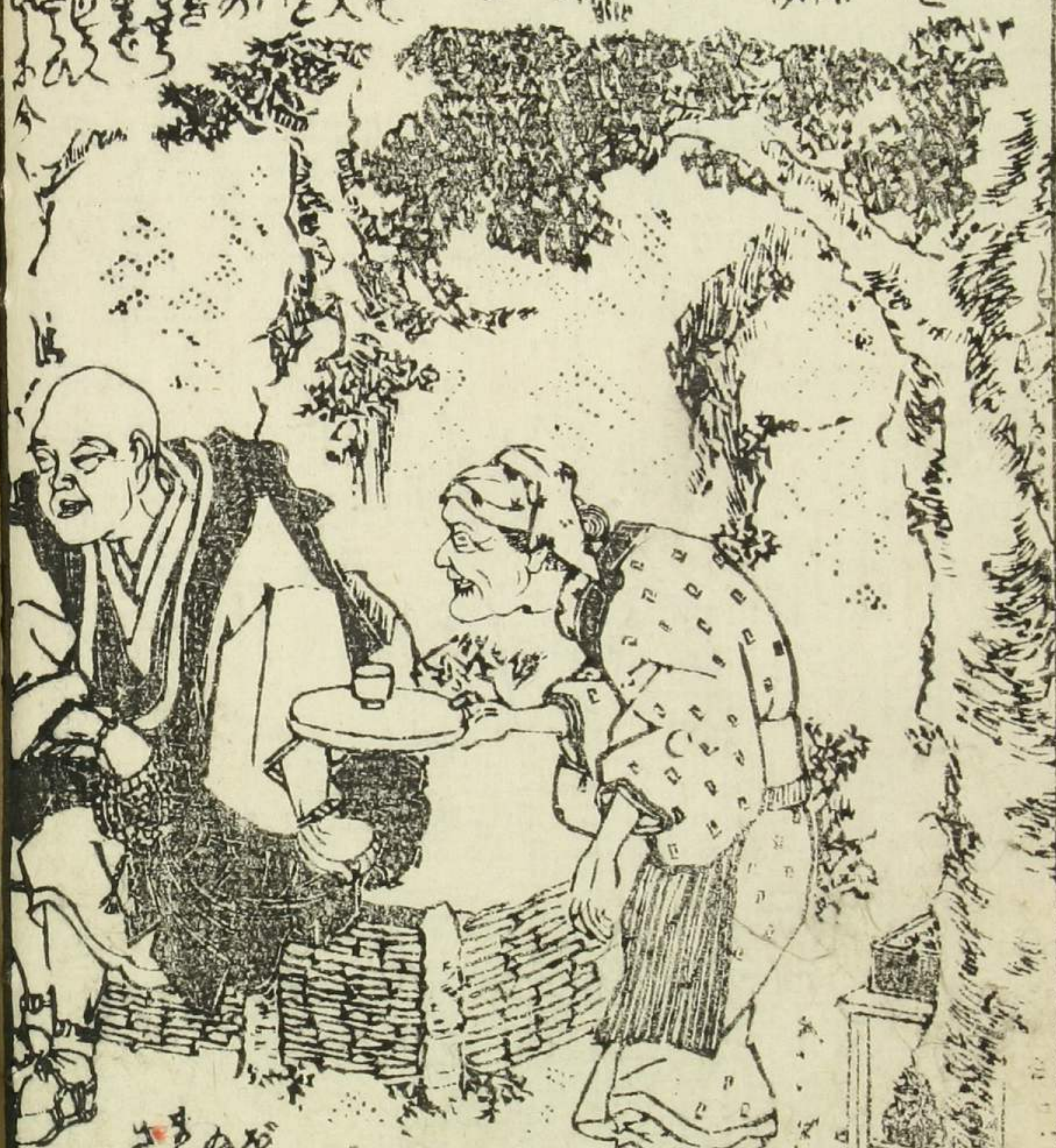
そのまは...  
下は...



そのまは...  
下は...



たまたま  
 子どおつ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ  
 ありふ



七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十



一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

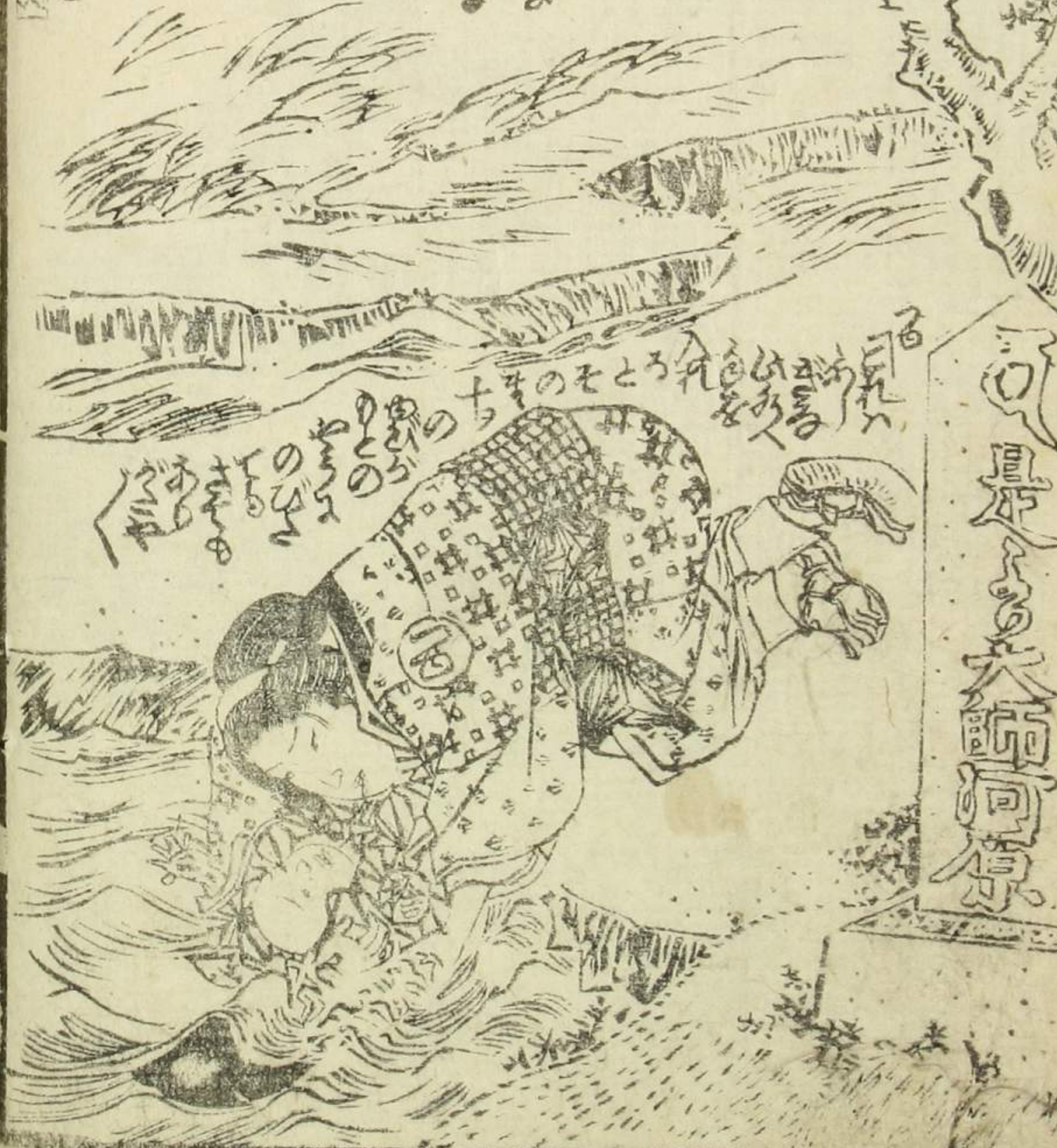
五の巻の甲へおせられし  
十の巻の甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし  
はくしゅうの甲へおせられし



市

十

これをきてはけし  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに  
そのついでに



可是も大師河原



今上は...  
 大...  
 小...  
 ...  
 ...  
 ...



今上は...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...









